

No.27 滞在・交流型里地里山魅力体験事業 （企画政策課）

令和元年度にめざした姿(目的)

南部町農泊推進協議会を中心とし、官民一体プロジェクトとして、体験型観光と民泊に取り組みます。

令和元年度にめざした成果

農泊事業として、コミュニティ施設としてオープンする「てま里」、緑水湖オートキャンプ場などとも連携を図りながら町内宿泊者数の増加を図ります。

令和元年度にめざした活動(主な取組み)

- ・資源の掘り起しと磨き上げによる魅力向上を行うとともに、町内への宿泊客を誘致し、消費拡大につなげます。
- ・民家を活用した宿泊事業を行おうとする方に、必要となる経費の一部を補助します。

令和元年度の成果

宿泊を伴う地域コミュニティ施設「てま里」のオープン、オートキャンプ場の指定管理などにより、南部町の特色ある里地里山を情報発信することで宿泊者数は前年比で増加となっています。

町内宿泊者数（4～12月）：6,542人
【前年：6,028人】・・・対前年同期比
108.5%

令和元年度の問題

農泊推進事業に携わっていただく、地域おこし協力隊を募集したが応募がなかったため、予約Webサイトの立ち上げ、広報等が遅れました。

また、官民一体とした取組みを掲げていましたが、実際は行政主導での動きとなっています。

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

地域おこし協力隊を活用した南部町体験型観光の推進を図ります。具体的には、町内にある自然や歴史、文化、産業、建築物など、あらゆるものを観光資源ととらえた体験プログラムの企画、運営などの業務を担うことで、南部町体験観光事業の定着と拡大を図ります。

(2) 解決すべき問題への方策

農家民泊を推し進めるとともに、緑水園のHP改修等による魅力発信などで新たな客層の獲得を図ります。

(3) 新たに取組む方策

日南町、琴浦町との広域連携を図りながら、自然豊かな圏域ならではの民泊の魅力、観光客の嗜好に対応する様々なプランをPR・提供します。